

令和7年度第2回三重県商工会議所連合会通常会員総会を開催

令和8年2月25日(水)

～令和8年度事業計画・収支予算を承認～

三重県商工会議所連合会（会長：小川謙）は、令和8年2月25日（水）ホテルグリーンパーク津にて、県内12商工会議所の会頭・専務理事の出席のもと「令和7年度第2回通常会員総会」を開催しました。総会において、令和8年度事業計画および収支予算にかかる議案が満場一致で承認されました。

小川会長は、挨拶の中で「令和8年度は、三重県誕生150周年を迎える節目の年でもあり、第63回神宮式年遷宮に向けた諸行事など、全国から注目されるイベントが続く好機であることから、この機会を生かし、今後の三重の産業発展や、交流人口の拡大に貢献できるよう、取組を進めていきたい」と述べました。



▲ 総会の様子

総会終了後は、日本商工会議所 企画調査部 部長 山内 清行 氏を講師にお迎えし、「地域共創による価値創出へのアプローチ～政府施策動向と商工会議所への期待～」と題して講演が行われ、「商工会議所は、多様な業種が集まる組織として、地域にとって何がベストであるかを議論し実行できる強みを持っており、日本商工会議所としても、各地の商工会議所からの現場の声を施策に反映させ、地域経済の成長と課題解決を全面的にサポートする」と述べられました。講演会では、各商工会議所の副会頭も含め、総勢58名の参加者が熱心に耳を傾けました。その後、講師も参加いただいて懇談会を開催し、有意義な交流、情報交換が行なわれました。



▲ 講演会の様子